



出水小学校 学校だより

そったく き
啐啄の機 R7 No. 13

令和7年11月6日(木)

熊本市立出水小学校

校長：横山 幸生

11月は「心かがやけ月間」

熊本市では、毎年11月を「心かがやけ月間」として学校、保護者、地域社会と連携して、道徳教育の充実を図る取り組みを行っています。本校でも「親子道徳の日」や「ボランティア活動」などの取り組みを行う予定です。そこで、11月5日(水)の全校朝会では次のような話をしました。

毎年11月3日に全日本剣道選手権という剣道日本一を決める大会があります。いまから約25年前にこの剣道日本一をめざしていた選手がいました。栄花直樹選手です。しかし、栄花選手は2年続けて同じ選手に負け続けていました。その選手は、2連続で日本一になっている宮崎正裕選手です。そこで、栄花選手は2度目に負けたときに、次の年に宮崎選手に勝つために、朝早く起きてあることに取り組み始めました。では、ここでクイズです。栄花選手が取り組んだことを、次の3つから選んでください。

① 体カトレーニングに取り組んだ。② 新しい技の練習に取り組んだ。③ 道場の掃除に取り組んだ。

さあみなさんどれだと思いますか。正解は…。③の道場の掃除に取り組んだです。

栄花選手は毎朝7時に誰もいない道場に通い、出水小の体育館ほどの広さの道場を30分かけて、一人でぞうきんがけをしたそうです。そして、それを毎日続けたそうです。そうして迎えた次の年の全日本選手権の決勝戦で、どうしても勝てなかった宮崎選手と対戦し、見事に勝利を収め、念願だった日本一となりました。さらにその年に行われた剣道の世界大会でも優勝し、剣道の世界一になります。

では、栄花選手はなぜ、目標である日本一になり、さらに世界一にもなれたのでしょうか。それには2つ理由があると思います。一つ目は、「きつくても、めんどくさくても、自分が決めたことを、やり続けた」からです。ぞうきんがけするということは誰でもできることです。しかし、それを毎朝早起きして、一人でやり続けるということは、簡単なことではありません。きっと「きついな」「したくないな」と思われたことでしょう。しかし、そんな「心の弱さに負けずに」ぞうきんがけをやり続けました。誰かに言われたから、誰かが見ているからやるのではなく、自分で決めたことをやり続けたのです。栄花選手が磨いていたのは道場の床ですが、そのことを通して自分の心が磨かれ、剣道も強くなったのだと思います。

2つ目は「みんなのためになることに取り組んだ」ということです。体カトレーニングも技の開発も自分のためになることです。しかし、道場の掃除は自分のためだけでなく、みんなのためになることです。それを続けることで心が磨かれたのだと思います。

さて、11月は「心かがやけ月間」です。みなさんも、栄花選手のように「今、自分にやれること」や「みんなのためになることを」を見つけて取り組んでみてください。きっとそのことを通して心が磨かれ、いろいろなことをやり通すことができるようになります。「あなたがなりたい自分に」なることができます。出水小学校みんなで、心を磨き、輝かせていきましょう。

150周年記念式典及び学習発表会お世話になります！

11月8日(土)に県立劇場にて150周年記念式典及び学習発表会を行います。子どもたちはこの日に向けて、毎日一生懸命練習に励んでいます。子どもたちの頑張りをどうぞご期待ください。先日プログラムを通してお知らせしましたように、学習発表会は完全入れ替え制の3部構成で行います。会場の都合上、どうしても一度に全ての保護者の皆様に見ていただくことができません。そこで、なるべく見やすい席でご自分のお子様の発表をご覧いただけるよう、3部構成としております。保護者の皆様には大変ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞご理解の上、お互いに譲り合ってください。どうぞご観覧いただきますようお願い申し上げます。どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。